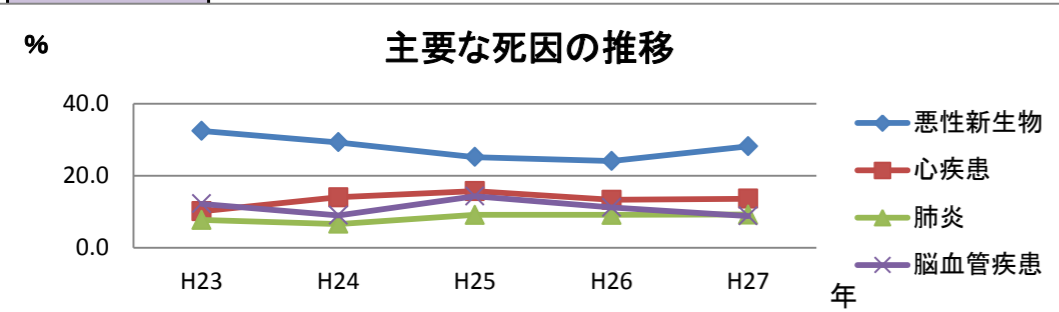


中央市がん対策推進計画の概要

平成30年～34年度計画

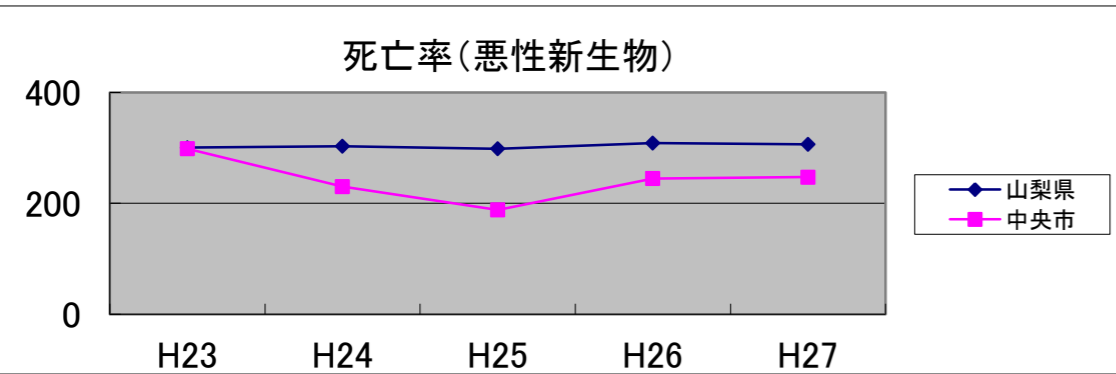
- 計画の趣旨**
- ・日本人の死亡原因の第1位。
 - ・二人に一人が、がんにかかると推計される時代。
 - ・人口の高齢化とともに、がんの罹患者数、死亡者数の増加が見込まれる。
 - ・がん医療や支援について更なる充実が必要。
 - ・子どもに対するがん教育の必要性。
 - ・がんになっても安心して働き暮らせる社会を目指す。

地域の状況



悪性新生物死亡者数

平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
中央市	山梨県	中央市	山梨県	中央市	山梨県	中央市	山梨県	中央市	山梨県
298.5	300.4	230.0	303.1	188.3	298.4	244.7	309.0	247.4	306.7



各種がん検診受診率

各種がん検診受診率	胃がん		肺がん		大腸がん		子宮がん		乳がん	
	H22	H27	H22	H27	H22	H27	H22	H27	H22	H27
	39.5	37.3	48.8	55.4	48.3	52.8	29.0	27.5	48.8	40.5

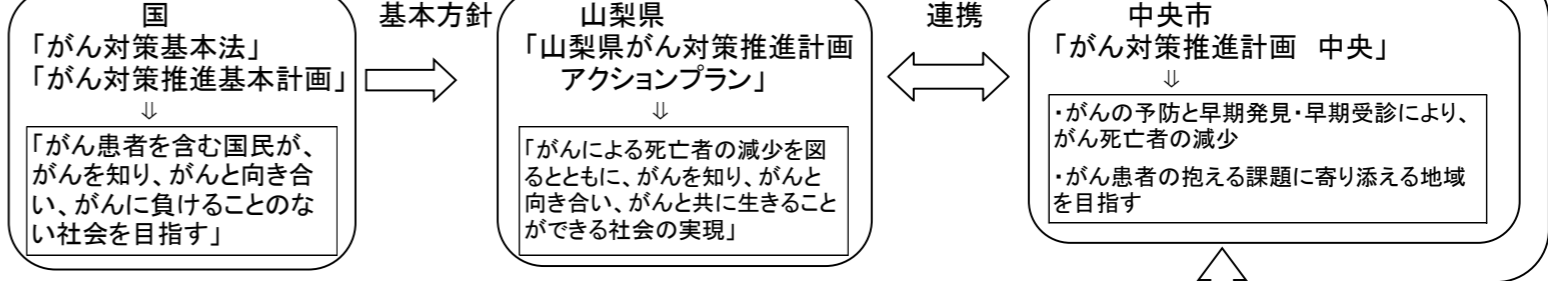
各種がん精検受診率

各種がん精検受診率	胃がん		肺がん		大腸がん		子宮がん		乳がん	
	H22	H28	H22	H28	H22	H28	H22	H28	H22	H28
	70.8	87.3	84.2	92.5	69.9	77.7	82.4	79.2	89.7	96.4

平成25年～29年度計画

- めざす姿: * がんによる死亡者の減少
- 具体的目標値: * 乳がん・子宮がん検診において50%の受診率とする。
* 全てのがん検診において90%の精検受診率とする。
- 結果: * H27年度受診率 子宮がん 27.5% 乳がん 40.5%
* H28年度精検受診率 胃がん 87.3% 肺がん 92.5%
大腸がん 77.7% 子宮がん 79.2% 乳がん 94.2%

計画の位置づけ

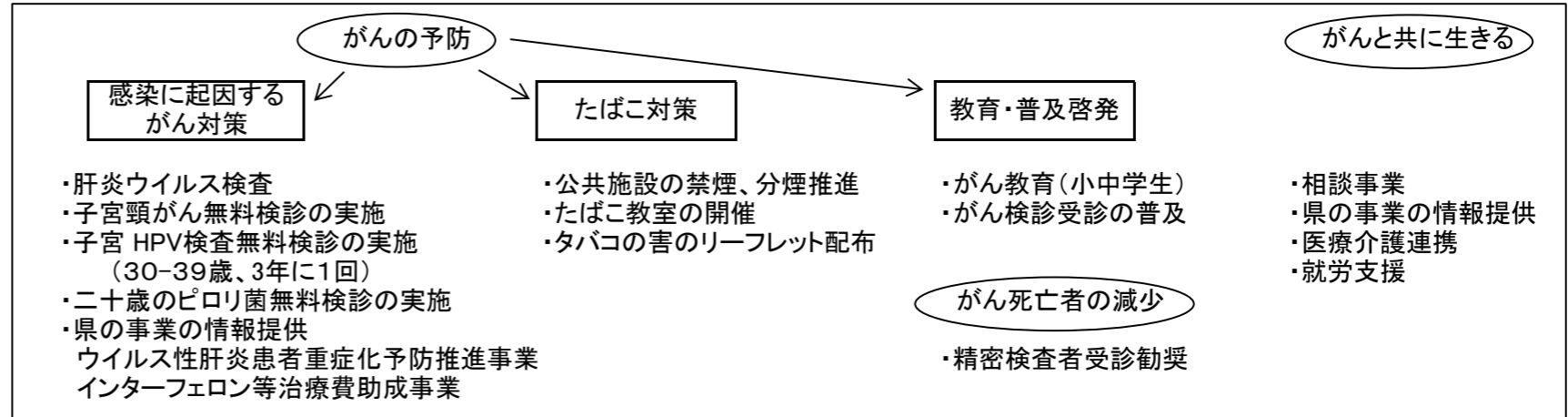


目標=めざす姿
がんによる死亡者の減少

具体的目標

- たばこ喫煙者の減少(喫煙率12.2%→11.5%)
- 二十歳のピロリ菌受検者の増加
- がん検診受診率の向上
- がん精密検査受診率の向上

対策



がん検診受診率目標

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮がん		乳がん	
H28	H33	H28	H33	H28	H33	H28	H33	H28	H33
10.1	20.0	25.2	30.0	24.3	30.0	14.0	20.0	29.7	35.0

※H28健康増進事業報告から、受診率算出における分母(対象者)を全住民としたため、H27より大幅な減少あり。

がん検診精検者受診率目標

胃がん		肺がん		大腸がん		子宮がん		乳がん	
H28	H33	H28	H33	H28	H33	H28	H33	H28	H33
87.3	90.0	92.5	93.0	77.7	80.0	79.2	80.0	96.4	97.0

個人ができること。 組織としてできること。こうあればいいなと思うこと。 ～健康づくり推進協議会や市民の声～

- ・予防できるがんは、「胃がん」「子宮頸がん」。ピロリ菌やHPVワクチンへの正しい情報提供が必要。
- ・その他のがんは早期発見が重要。検診を受ける行動、肝炎などハイリスク者の管理等の必要性。
- ・がん予防の中に、たばこアルコール対策を。 母親学級や乳幼児健診、学校教育、企業での対応も必要。
- ・児童、生徒に対するがん教育の必要性を痛感する。教育課程に基づいて各教科等で実践を推進。
- ・当たり前だと思っていた健診、受診率の低さに驚いた。もっと関心を！！
- ・20歳のピロリ菌検査は若い世代に大変良い取組だと思う。感染リスクが高いのは5歳まで、母親学級や乳幼児健診を利用した母子感染の啓もう活動が重要。
- ・年齢を絞った重点的受診率向上対策をしたほうがいいのか？
- ・がんの治癒をしながら仕事をしていくケースが多くなっていくと思う。共生についての取組も必要。
- ・肺腺がんはレントゲンで見つかりにくい癌。肺CT検査が肺がん発見には有効であり、ハイリスク及び心配な人への健診体制はできているので、活用を。
- ・がん検診、がん精検受診率は山梨県より高率。関心の高さと日頃の活動の成果が伺える。